

## 第3回

(仮称) みんなの夢水路計画づくりに係る  
ワークショップを開催しました！



(仮称) みんなの夢水路  
計画づくり

# ワークショップ 通信

第2号

平成27年12月3日

9月にワークショップの参加者の募集を行い、応募された方々と、第3回ワークショップを平成27年11月15日(日)に開催しました。当日は、29名の方に参加していただきました。ワークショップは全4回の開催を予定しており、次回の第4回目は、第3回目に引き続き、水路の基本計画案についての検討を行う予定です。今号では、第3回の実施内容をお知らせします。

## 第3回ワークショップ(平成27年11月15日)

第3回目は、水路の基本計画案の検討を行いました。今までのワークショップや、小学生の意見の中で多く挙げられていた活動(入れる、生き物観察、遊ぶ、生き物が棲む)をカードにし、水路平面図を使い、その活動をどこの空間で行うかを検討しました。

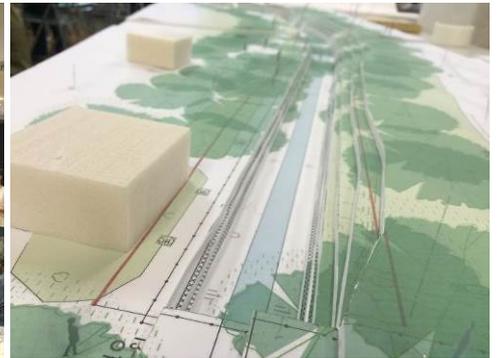
また、水路の完成イメージを、事例写真を用いて共有し、グループ内での意見をまとめました。



検討風景

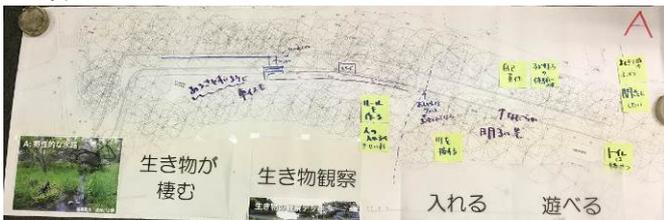


各グループの発表

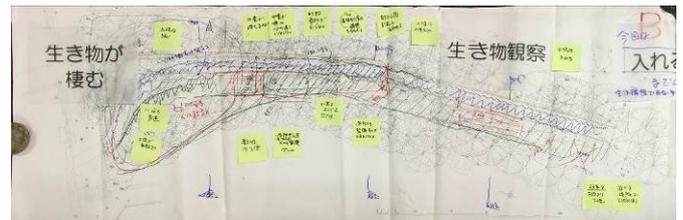


現況模型

### -各グループのまとめ-



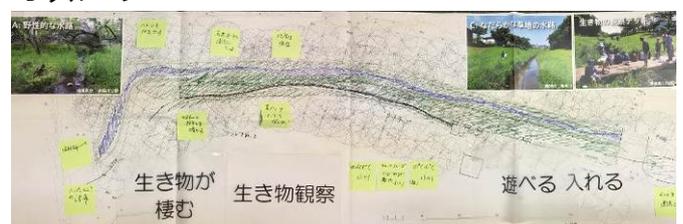
Aグループ



Bグループ



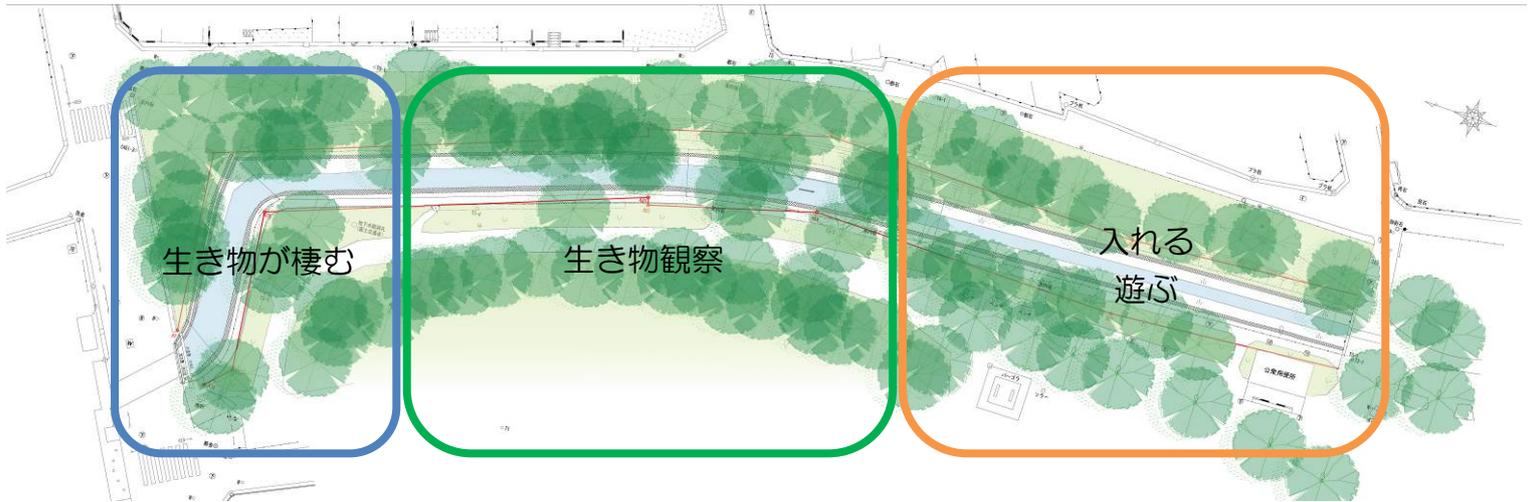
Cグループ



Dグループ

## まとめ

各グループの発表の中で共有されたことをまとめました。これを元に区で基本計画案のたたき台を作成し、第4回ワークショップでは、そのたたき台を基に更に検討を行います。



### 【共通事項】

- ・左岸（道路側護岸）は、水面からの高低差もあることから大きな改良は行わず、自然護岸的に改良することで動植物の多様性を高める検討を行う
- ・右岸（公園側）は、水面になだらかにアプローチできる自然護岸（自然素材、草地等）をベースに検討を行う
- ・水路の上流部は自然環境の保護をめざし、下流部は人とのかかわり合い（親水性）を高める検討を行う
- ・水路の空間特性を把握しながら、部分的に樹木の移植・伐採・剪定等の検討を行う
- ・だれもが水辺環境を楽しめる検討を行う

### ◎上流から中流

- ・生物・植物保護エリア（自然観察エリア）的な空間として検討する
- ・人が立ち入りにくい設えを検討する（植栽、フェンス有無等）

### ◎中流から下流

- ・人が水面に近づけるエリアとして検討する
- ・子どもが安全に水辺に入れるエリアとして検討する
- ・明るく、広がりのあるエリアとして検討する

### 【その他の意見】

- ・流入水量を増やしたい（上池の揚水量の増加、千川上水の引込、下池の水の循環等）
- ・水路下流部から下池へ接続する暗渠部を開渠にしたい
- ・水路下流部の公園内トイレを移設したい
- ・水路再整備後も水路の維持管理等に関われるような仕組みを考えていきたい

第3回のまとめを踏まえて、第4回は水路基本計画案と今後の管理について検討を行います

